

XES

XES-H50

取扱説明書

リボントウイーター

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

保証書（別添）はお求めの販売店で記入いたしますので、内容をご確認のうえ、後々のためこの説明書とともに大切に保存してください。

取り付けはお買い上げ店に依頼する

本機の取り付けは車種や年式より異なり、専門知識が必要です。万一、ご自分で取り付けるときは、この取扱説明書に従って、正しく取り付けてください。正しい取り付けをしないと、火災や感電または自動車の損傷の原因となります。

**警告**

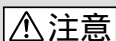
安全のために

警告表示の意味

取扱説明書、製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

**警告**

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

**注意**

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり自動車に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災



感電

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止

**警告**

火災



感電

下記の注意を守らないと**火災・感電**により**死亡や大けが**の原因となります。

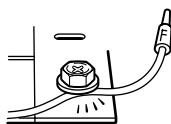
運転操作や車体の可動部を妨げないように取り付ける

運転の妨げになる場所、車体の可動部の妨げになる場所に取り付けや配線をする、事故や感電、火災の原因となります。

- ネジやシートレールなどの可動部にコード類をはさみ込まない。
- コード類はまとめる。
- ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどが正しく操作できることを確認する。



禁止

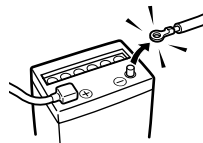


助手席エアバッグの動作の妨げにならない所に取り付ける

フロントダッシュボードに取り付けるときは、エアバッグの動作の妨げにならない所を選んで取り付けないと、事故やけがの原因となります。

配線作業中は、バッテリーのマイナス端子をはずす

マイナス端子をつないだまま作業をすると、ショートにより感電の原因となります。



ステアリングやブレーキ系統、タンクなどにある車の性能を維持するための部品を使わない

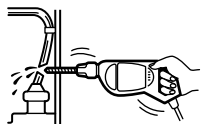
車体のボルトやナットを利用するとき、ステアリングやブレーキ系統、タンクなどの部品を使うと、制動不能や火災の原因となります。

雨、水がかかる場所、湿気、ほこりの多い場所には取り付けない

上記のような場所に取り付けると、火災や感電の原因となります。

パイプ類、タンク、電気配線などを傷つけない

火災の原因となります。車体に穴を開けて取り付けるときは、パイプ類、タンク電気配線などの位置を確認してください。



下記の注意を守らないと**けが**をしたり
自動車に損害を与えたりすることがあります。

付属の部品で正しく取り付ける

他の部品を使うと、機器の内部を傷つける、しっかり固定できないなどで、火災やけがの原因となることがあります。

安定した場所に取り付ける

振動の多いところや、天井などに取り付けると、製品が動く、落ちるなどにより、事故やけがの原因となることがあります。

分解や改造をしない

火災や感電、事故の原因となります。

電源リード線の被覆を切って、他の機器の電源を取ると、リード線の電流容量を超えてしまいます。内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。

本体に水や異物を落とさない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度にする

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご利用ください。車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。

目次

主な特長

はじめに

安全のために	2
主な特長	4
ご注意	5

取り付け

取り付ける前に	6
部品表	6
取り付け例	7
[A] ダッシュボードなどの 表面に取り付ける場合	7
[B] ドアの内装の表面に 取り付ける場合	8
[C] ドアの内装に埋め込んで 取り付ける場合	9

接続

基本的な接続	10
システム接続例	11

その他

主な仕様	12
保証書とアフターサービス	14

軽量リボン型振動板

振動板には、ポリイミドフィルムにアルミボイスコイルをエッチングした軽量リボン型振動板を採用。強力な磁力で駆動することにより、優れた過渡特性を実現。

完全対称型超強力磁気回路

従来のフェライトマグネットの約9倍の磁力をもつネオジウムマグネットをリボン型振動板の上下に設置することで、強力かつ振幅に対して対称的な駆動力をもつ磁気回路を実現。

ご注意

- 本機のスピーカーコード(黒/赤線)先端に接続されているコンデンサーは、誤配線などによりトゥイーターが破壊されることを防ぐためのものです。すべてのセットの配線が終了し、異常がないことを確かめた上で、保護用コンデンサーをとりはずしてください。
- 音が歪むほどの大音量で鳴らさないください。
- キャッシュカード、定期券など、磁気を利用したカード類をスピーカーに近づけないください。スピーカー内部の磁石の影響でカードの磁気に変化し、使えなくなることがあります。
- 取り付けの際、スピーカーの振動板に手や工具を触れて、傷をつけないようにしてください。

お車への取り付けに関しては、お買い上げ店にご相談ください。

取り付け

取り付ける前に

取り付ける場所について

エアバッグ、窓ガラス、ドアの周辺の妨げにならない位置を選んで取り付けてください。

取り付けかたについて

取り付けかたには3とおりあります。

A ダッシュボードなどの表面に取り付ける方法（部品表A）

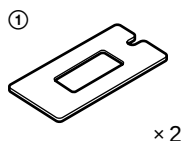
B ドアの内装の表面に取り付ける方法（部品表B）

C ドアの内装に埋め込んで取り付ける方法（部品表C）

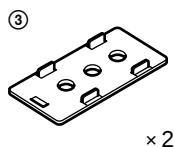
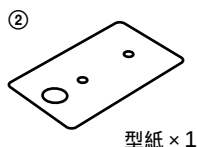
部品表

○内の数字は、取り付け説明の中で取り付けに使用する部品の番号です。

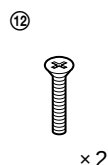
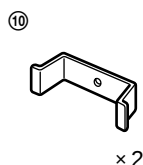
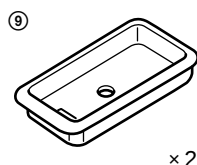
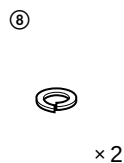
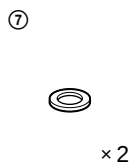
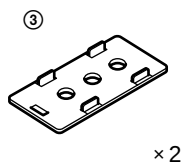
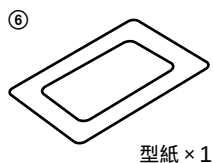
A ダッシュボードなどの表面に取り付ける場合



B ドアの内装の表面に取り付ける場合



C ドアの内装に埋め込んで取り付ける場合

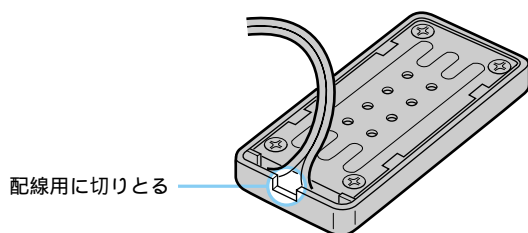


取り付け例

A ダッシュボードなどの表面に取り付ける場合

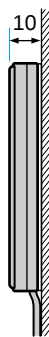
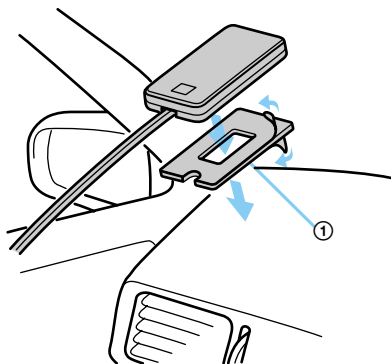
取り付けようとしている位置が、左右とも平面であることを確認してください。

1



2

両面テープを使用するときは、取り付ける面をきれいにしてから接着してください。

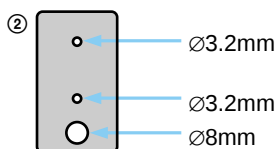


単位 : mm

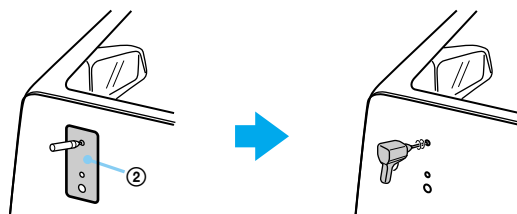
[B] ドアの内装の表面に取り付ける場合

取り付けようとしている位置が、左右とも平面であることを確認してください。

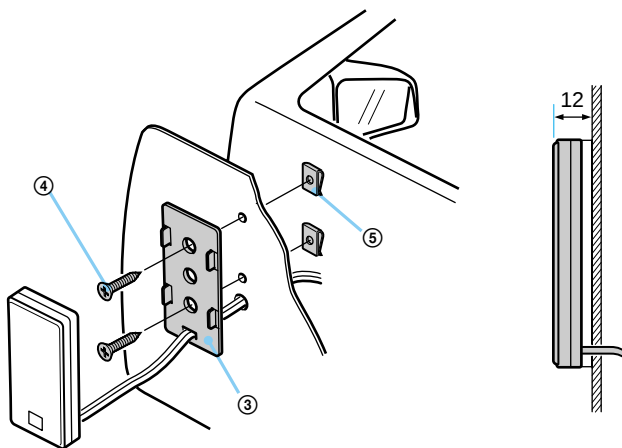
1



2

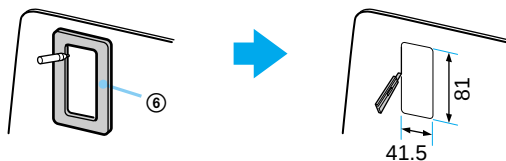


3

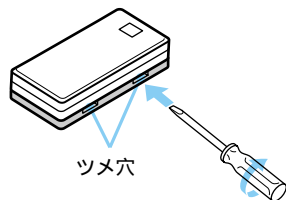
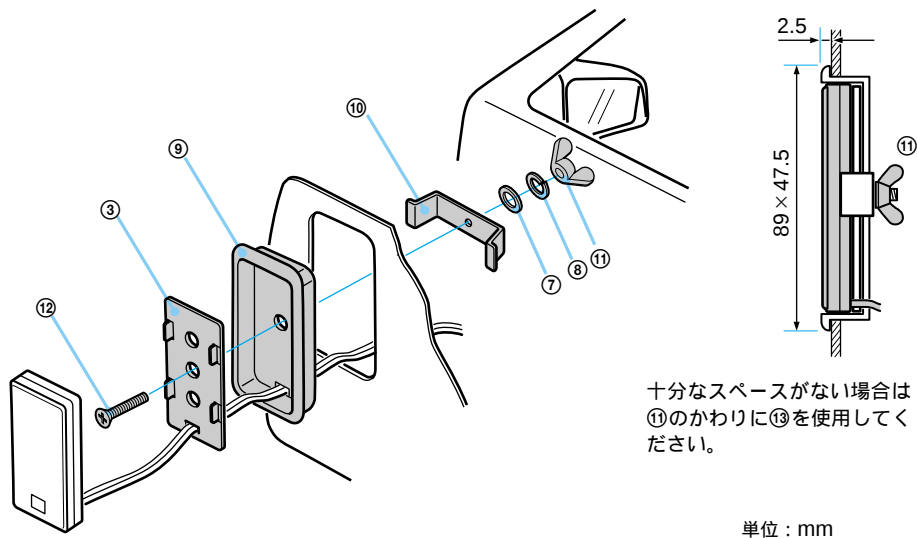


☐ ドアの内装に埋め込んで取り付ける場合(内装材の裏面から最低20mmのスペースが必要です)

1

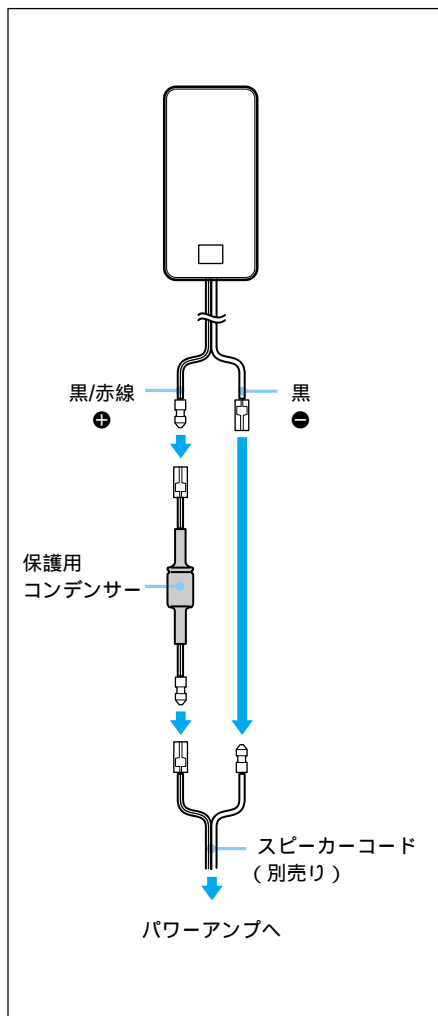


2



本機を③取り付け板から取り外す場合には、マイナスドライバーなどを本機と取り付け板の間にある4か所のツメ穴に差し込み、回転させてください。

基本的な接続



本機のスピーカーコードに接続されているコンデンサーは、誤配線などによりトゥイーターが破壊されることを防ぐためのものです。

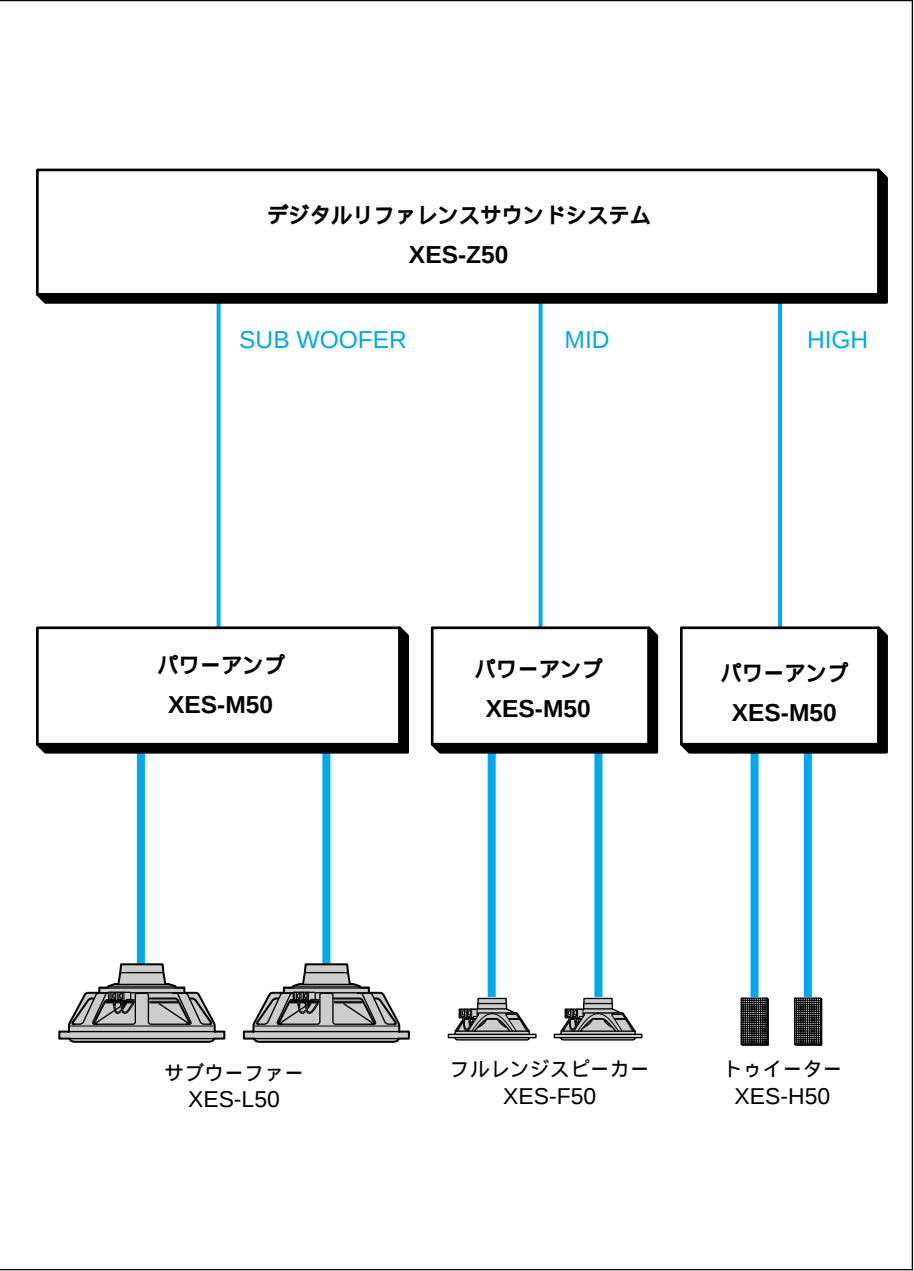
すべてのセットの配線が終了し、異常がないことを確かめた上で取り外してください。

接続は、次の手順で行ってください。

接続の手順

- 1 保護用コンデンサーを通してパワーアンプに接続し、すべてのシステムを接続した上で正常な信号が入っている（異音などがない）ことを確認する。
- 2 保護用コンデンサーをスピーカーコードからはずして、あらためてスピーカーコード（別売り）に接続する。

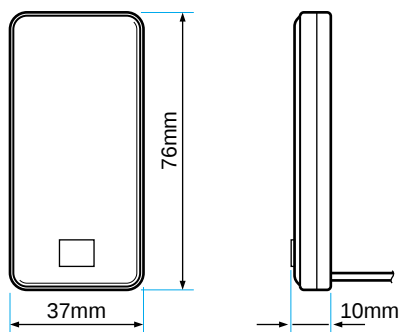
システム接続例



主な仕様

スピーカー	リボントウイーター
再生周波数帯域	3,500 ~ 40,000Hz
インピーダンス	4 Ω
DCR	4 Ω
定格入力	40W
最大入力	120W
出力音圧レベル	91dB/W/m
推奨クロスオーバー周波数	5,000Hz以上
質量	約100g (1個)
付属品	取り付け部品 (一式) 取扱説明書 (1) ソニーご相談窓口のご案内 (1) 保証書 (1)

寸法



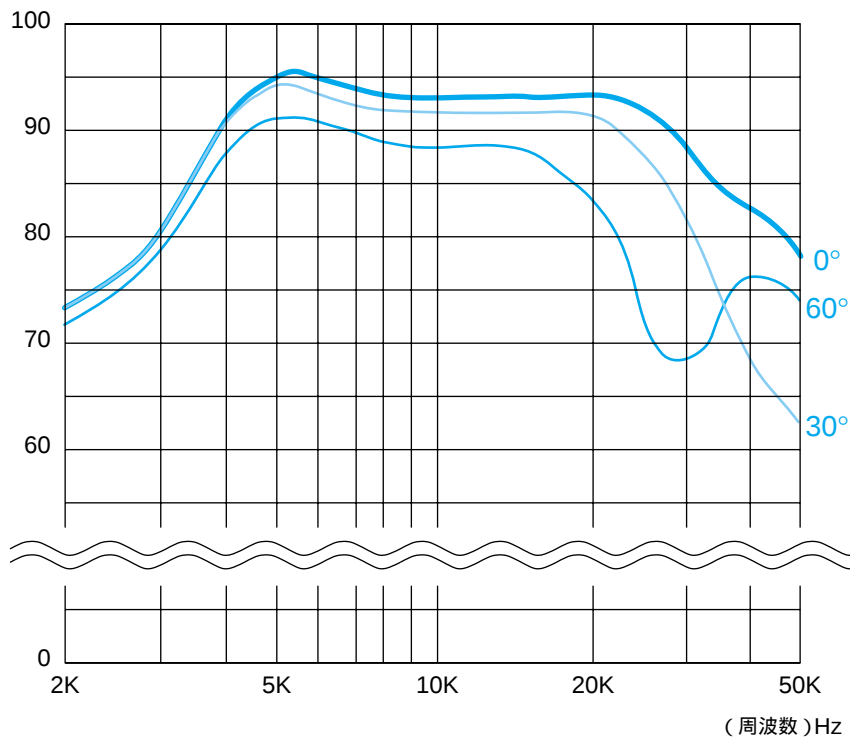
単位 : mm

主な仕様(つづき)

周波数特性表

出力音圧、指向周波数特性(無響室1m.1W)

出力音圧レベル(dB)



保証書とアフターサービス

保証書（別に添付）

保証書は、所定事項の記入をお確かめのうえ、お買い上げ店からお受け取りください。内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

保証期間

お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

修理を依頼される前に、XES-Z50の取扱説明書などに記載されている「故障かな？」の項目に従って、故障かどうかをお調べください。直らないときは、お買い上げ店、またはお近くのサービス窓口（別紙）にご相談ください。

保証期間中

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

保証期間を過ぎたら

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間

この製品の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。

XES

ソニー株式会社〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

お問い合わせはお客様相談センターへ

● ナビダイヤル…………… 0570-00-3311

(全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます)

● 携帯電話・PHSでのご利用は… 03-5448-3311

● Fax …………… 0466-31-2595

受付時間：

月～金

9:00～

20:00、

土・日・祝日

9:00～

17:00